

平成 29 年春期 応用情報技術者試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2017,6,21

4 月 16 日 (日) に行われた平成 29 年春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データの分析をもとに、応用情報技術者試験の合格発表コメントをお知らせします。

■応用情報技術者試験 (AP)

[平成 29 年春期の応用情報技術者試験 統計情報]

応募者	49,333 人
受験者	31,932 人
合格者	6,443 人
合格率	20.2%

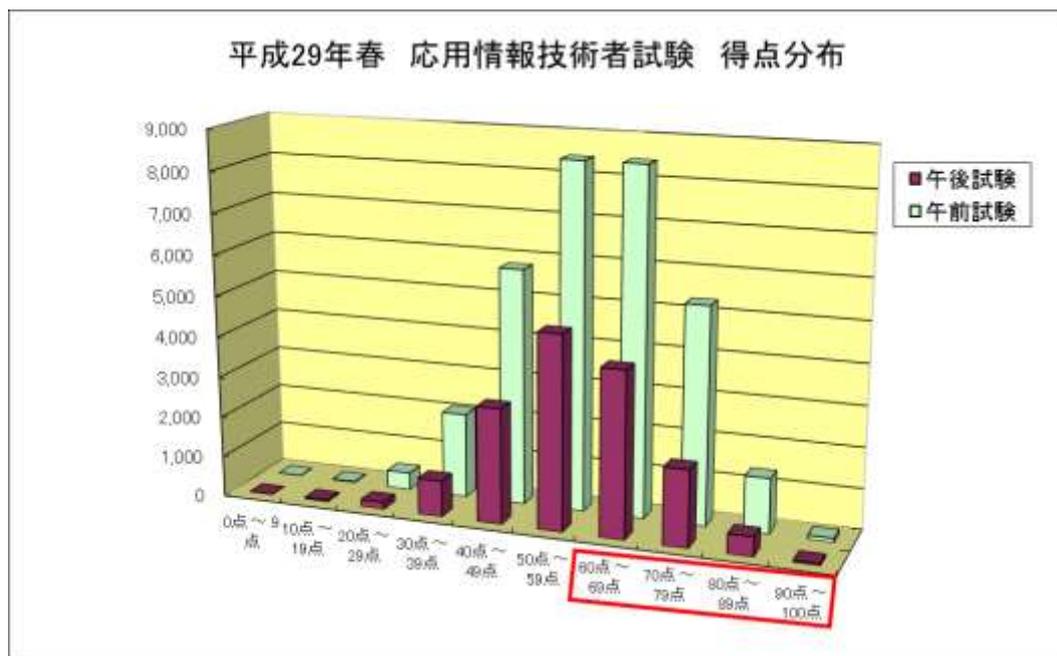
今回の応用情報技術者試験の合格率は 20.2% で前回の 21.4% よりも若干低い結果でした。平成 27 年秋期試験は 23.4% という高い合格率でしたが、それ以後、今回も含めて平均的な結果といえます。

次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[平成 29 年春 応用情報技術者試験 スコア分布]

平成 29 年春 AP	応募者	受験者	合格者
人数	49,333	31,932	6,443
率		64.7%	20.2%

得点	午前試験	午後試験	合格者
0 点 ~ 9 点	7	10	
10 点 ~ 19 点	22	45	
20 点 ~ 29 点	425	171	
30 点 ~ 39 点	2,085	886	
40 点 ~ 49 点	5,781	2,820	
50 点 ~ 59 点	8,434	4,735	
60 点 ~ 69 点	8,434	4,041	
70 点 ~ 79 点	5,295	1,874	
80 点 ~ 89 点	1,355	480	
90 点 ~ 100 点	94	48	
計	31,932	15,110	6,443
対前試験比率		47.3%	42.6%
合格者数	6,443	採点者数の割合	合格者数との差
午前 60 点以上合計	15,178	47.5%	8,735
午後 60 点以上合計	6,443	42.6%	0



今回の平成29年春期の午前試験では合格基準点の60点以上の方が15,178人で受験者の47.5%でした。前回の試験は34.8%でかなり低い結果でしたが、今回かなり上がりました。

午後試験で合格基準点の60点以上を超えている人(合格者)は6,443人で、採点数の42.6%にあたります。前回平成28年秋期試験では61.8%だったので、20%近く下がったこととなります。午後の試験問題で選択率の高いと思われる問題が少し難しかったことの影響が出たと予測されます。

ボーダラインといえる得点結果の人について、午前試験で50点以上60点未満の人が8,434人(受験者の26.4%)、午後試験で50点以上60点未満の人が4,735人(同31.3%)と、どちらも約3割の人があと10点で合格できるラインにいます。この方たちは合格まで“あと一步”のところにいるので、苦手と感じる分野を中心に早めに次の試験対策を始めてください。

■平成29年春期 応用情報技術者試験 出題内容について

(午前問題)

- ・ 午前試験問題はここ数年、少しずつ難しくなる傾向があります。前回は計算問題が増えて少し難しかったといえますが、今回、計算問題は減りましたが考察問題が増えたので、全体としては前回と同様の難易度だったといえます。
- ・ 過去問題は全体の6割強で前回よりやや増えています。また、応用情報技術者試験の過去問再出題は前回とほぼ同じで32問ありました。高度試験の午前Ⅱからの出題もあり、情報セキュリティスペシャリスト試験から2問、エンベデッドシステムエンジニア試験から2問、ITサービスマネージャ試験から2問出題がありました。これらの問題は少し難しかったといえます。
- ・ 新傾向または新しい用語に関する問題は次のとおりで、前回よりも少し多くなっています。なお、他の試験で過去に出ていてもAP試験で初めて出題された問題も含めています。

問12 CDNの説明

問19 GNU GPLの説明

問20 エネルギーハーベスティングの適用例

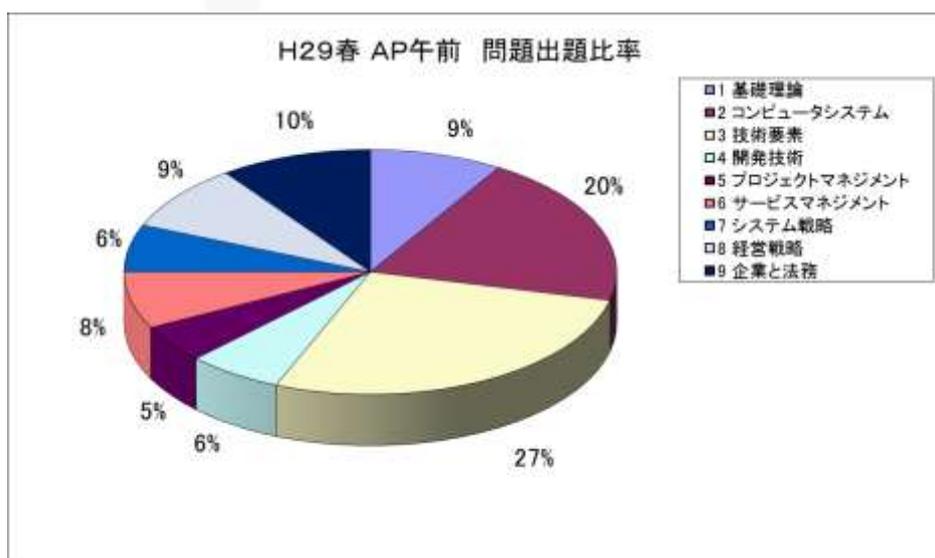
問25 表示装置の諧調表現手法

問34 OpenFlowを使ったSDNの説明

- 問 35 ブロードキャストストームの説明
- 問 39 サイバーセキュリティ経営ガイドラインの説明
- 問 44 攻撃に HTTPS が使われた場合に起こり得ること
- 問 45 IPsec, L2TP, TLS の相対的な位置関係
- 問 46 プラットフォーム開発を適用する利点
- 問 49 アジャイル開発で“イテレーション”を行う目的
- 問 65 LSI 開発
- 問 68 浸透価格戦略の説明
- 問 72 行動ターゲティングの説明

- ・ 今回の問題内容で特徴的なことは、考察問題が（前回）13 問→（今回）21 問とかなり増えていますが、計算問題は（前回）12 問→（今回）5 問と半分以下に減っていることです。考察と計算問題を合わせた合計数は大きく変わっていませんので、難易度は前回とほぼ同じだったと考えられます。なお、文章問題は 44 問→44 問、用語問題は 11 問→10 問で大きな変化はありませんでした。

平成 29 年春期の応用情報技術者試験 午前問題出題比率



〔午後問題〕

午後試験の問題は、解答数が 5 問に減ってから、4 回目の実施になります。

今回出題された問題は、選択が自由になった問 2 の経営戦略がやや難でしたが、問 3 のプログラミングの内容は探索アルゴリズムの内容で身近な題材で、前回と同様に解答しやすかったといえます。

午後の試験対策としては、各問題の出題テーマに関連する午前試験レベルの知識を確実に理解し、問題事例に適用できるよう、しっかり演習を行う必要があります。

- 問 1 マルウェア対策（情報セキュリティ）
- 問 2 経営分析とバランススコアカード（経営戦略）
- 問 3 探索アルゴリズム（プログラミング）
- 問 4 仮想環境の構築（システムアーキテクチャ）
- 問 5 レイヤ 3 スイッチの故障対策（ネットワーク）
- 問 6 稟(りん)議申請システム（データベース）

- 問7 スマートウォッチ（組込みシステム開発）
- 問8 アジャイル型開発（情報システム開発）
- 問9 システムの移行レビュー（プロジェクトマネジメント）
- 問10 マネジメントプロセスとサービスデスクの運用（サービスマネジメント）
- 問11 新会計システム導入に関する監査（システム監査）

（今回合格された人）

今回見事合格された方で、17 秋期 試験で情報処理安全確保支援士・ネットワークスペシャリスト・IT ストラテジスト・システムアーキテクト・IT サービスマネージャの試験合格を目指す方は、午前の試験が午前Ⅰの共通知識と午前Ⅱの専門知識に分れます。

午前Ⅰ試験は免除になりますので、午前Ⅱの専門分野知識について、なるべく早く試験対策を開始してください。まずは該当分野の応用情報技術者試験の問題を解いてみましょう。

高度系種別を受験するにあたっては、出題範囲を網羅した通信教育の『午前Ⅰ免除コース』がおすすめです。基礎から段階的に知識の積み上げを行いたい方には「書籍」「WEB教材」「WEBテスト」「公開模試」の合格のために必要な知識を体系立てて身に付けることが可能なコース学習『スタンダードコース』がおすすめです。

その他、学習にあたっては、午前試験対策に重点をおいた『宿題メール』。午後試験対策には、受験対策のプロ講師から直接学べる『合格ゼミ 午後試験対策セミナー』など、学習アイテムを豊富に取り揃えております。午前Ⅰが免除になり、かつこれまでの学習で身に着けた知識が鮮明なうちに次の資格試験にチャレンジすることが、合格への近道です。次のステップアップを目指しましょう。

（今回残念ながら不合格だった人）

まず、自分がよく理解していない内容について早めの学習が必要です。苦手な分野は、アイテック刊行のテキスト「応用情報・高度共通 午前試験対策」、**「応用情報技術者 午後問題の重点対策」**などの教材で、じっくり学習してください。

今回の午前試験の得点が 50 点～59 点の人は、合格までほんとうに**“あと一歩”**のところまで実力が付いていますので、学習した知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策として復習を行い、新たに加わった分野の学習から始めましょう。

また、午後試験の得点が 60 点に満たなかった人は、確実に得点するために、落ち着いて問題を解き、解答が正しいかを検証する力を付けましょう。選択範囲が広がったことで解答しやすい問題を選ぶことができますので、チャンスが広がると考えて、早めに対策を始めましょう。

なお、午後試験に強くなるには、時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受けるなど、試験会場の環境を考えたうえで問題を解く訓練を行うのが有効です。

再受験のための学習にあたっては、弱点補強中心に学習を行いたい方やすでに教材をお持ちの方はトレーニング問題とポイント解説、午後の音声講義によるポイント解説などの充実したコンテンツの『プラクティスコース』、講師から直接指導を受けることでその場で自身の弱点分野を把握、克服ができる『合格ゼミ 午後試験対策セミナー』がおすすめです。

その他、各種豊富な学習メニューを用意しております。

応用情報技術者試験に合格するためには、午前対策、午後対策をバランスよく確実に進める必要があります。出題ポイントや午後試験対策方法を効率よく学習できるアイテックの通信教育、セミナーの受講で栄冠を勝ち取ってください。

2017 年秋期 試験対策の新しい書籍や研修案内については弊社のホームページからご覧ください。

<http://www.itec.co.jp>